

令和元年度第4回神岡地域協議会会議録

令和元年10月21日

神岡地域協議会

令和元年度第4回神岡地域協議会会議録目次

| | |
|---------------|----|
| ■開催日時 | 1 |
| ■開催場所 | 1 |
| ■出席委員 | 1 |
| ■欠席委員 | 1 |
| ■出席職員 | 1 |
| ■次第 | 1 |
| ■開会 | 2 |
| ■会長あいさつ | 2 |
| ■支所長あいさつ | 2 |
| ■会議録署名委員の指名 | 4 |
| ■協議 | 4 |
| 地域枠予算活用事業について | 4 |
| ■その他 | 9 |
| ■閉会 | 10 |
| ■署名 | 10 |

令和元年度 第4回神岡地域協議会 会議録

■日 時：令和元年10月21日（月） 午前8時30分

■会 場：神岡支所 3階 大会議室

■出席委員： 10名

齊 藤 亘、 久米川 和 行、 今 真 弓、 齊 藤 恵 子、
齊 藤 劦、 齋 藤 博、 鈴 木 幸 一、 佐々木 徹、
高 橋 しげ子、 中 村 淑 子

■欠席委員： 6名

伊 藤 明 美、 今 野 公 行、 齊 藤 由 紀、 鈴 木 美 保、
鈴 木 幸 寿、 傳 野 和 樹

■出席職員： 6名

小田原 一 春（神岡支所長）
岩 根 浩 幸（農林建設課長）
藤 井 良 子（中央公民館長）
舛 谷 恵理子（地域活性化推進室 主幹）
佐 藤 孝 （地域活性化推進室 主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名員の指名
- 5 案 件
 - ・地域枠予算活用事業について【協議】
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

(午前8時30分 開会)

○事務局（地域活性化推進室）

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
ただ今から令和元年度第4回地域協議会を始めさせていただきます。
はじめに、齊藤会長よりごあいさつをいただきます。

○齊藤神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆様おはようございます。始業の合図とともに会議が始まるというのも、めったにない貴重な体験をさせていただきました。先般の台風ですが、大変心配しましたが神岡地域においてはそれほどの被害ではなかったと聞いております。しかし、連日の報道によりますと他県では12県の被害、本日付けで81名の死者ということですので、大変大きな被害を受けたことが読み取れると思います。幸いにして神岡は助かったなとよかったと安堵しているところであります。

また、稲刈りもそろそろ終盤にかかり実りの秋を迎え、昨日、一昨日は「稔りフェア」、そして今週末26日には神岡地域文化祭が行われます。会議の中で詳細について説明があると思いますが、委員の皆様もぜひ、市民として誘い合わせて参加していただきたいと思います。

本日は協議会の後に研修を予定しておりますので、スムーズな進行にご協力いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

ありがとうございました。
続きまして、小田原支所長よりごあいさつを申し上げます。

○小田原支所長（以下「支所長」と表記）

皆様おはようございます。本日、第4回神岡地域協議会を開催したところ、朝の早い時間にもかかわらず、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

先般、皆様からご提出いただきました移住・定住に関する意見につきましては、移住支援検討会議にて協議を重ねまして、次期計画となる第2期の移住・定住アクションプランに反映させる予定とのことでした。企画部長より、ご意見を寄せていただいた委員の皆様にお礼を申し上げるとの連絡がありました。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。本日はタイトなスケジュールですので何卒よろしくお願いいたします。

それでは第3回目の地域協議会以降の支所管内の主な出来事についてご報告申し上げます。

はじめに、前回のあいさつの中で今後の予定としてお伝えしておりましたけれども、100歳長寿のお祝いで、9月2日に市よりお祝い金の贈呈がありました。

9月4日にユメリアで行われた神岡地域敬老会では、76歳以上の方々約1,000名のうち216名の方が出席されました。式典の後で行われました講話やアトラクションでは、消費生活相談室の出前講座「特殊詐欺に遭わないために」と題した寸劇の後、地元神岡地域の民謡歌手、高八卦智恵子さんが自慢の喉を披露してお祝いの席を盛り上げました。

また9月14日には絶好の花火大会日和のもと、第40回神岡南外花火大会が開催され、例年よりも多いプログラム数と趣向を凝らしたクオリティの高い花火が打ち上げられ、昨年より1,000人多い約14,000人の方が観客として訪れ、光と音の饗宴を堪能しておりました。

次に、9月21日から5日間の日程で開催されました第41回全県500歳野球大会では、雨の影響を受けながらも予定通りに日程が消化され、25日の決勝戦では秋田市の「牛島クラブ」と地元大仙市の「角間川角球クラブ」が対戦し、対戦スコア2対0で「牛島クラブ」が大会通算3度目の優勝を果たしております。

9月26日には大仙市技能功労者表彰式が行われまして、各分野において秀でた技能をお持ちの方々6名が市長から表彰を受けられました。神岡地域からは煙火製造業の功労者として豊富な知識と優れた技術、芸術性を有され現在後進の指導に当たっておられる北日本花火興業株式会社会長の今野正義様が受賞されております。

10月1日から始まったプレミアム付き商品券は、消費税増税に伴う消費の落ち込みを補うことなどを目的として、5,000円分を4,000円で購入できるものです。一人当たり最高で25,000円まで購入できるものでございますが、神岡地域においては対象となる世帯が649世帯ございます。対象となる世帯は、市民税の均等割りの非課税世帯と3歳未満の乳幼児のいる世帯となっております。対象となる世帯の方々には窓口を訪れ半数以上が購入された報告を受けております。

続きまして、先ほど会長のあいさつにもありましたが、10月12日、13日にかけての台風19号についてであります。神岡地域においては幸いにも大きな被害はありませんでしたが、雄物川上流部の湯沢地域に降った雨の影響で、13日の午後1時30分頃に雄物川の水位が4m86cmまで上昇しまして、それに流れ込む後川がはけなくなったために、中川原運動公園のサッカー場とグランドゴルフ場の一部が冠水しました。また堤防よりも川側にあります北檜岡の採草地も冠水しておりますが、その日のうちに大部分の水が引いております。

最後の報告となりますが、8月1日の暑い中、皆様からご協力を得て植えた音楽交流館前の花壇のマリーゴールドがたくさんの花をつけ、道行く人々の目を楽しませております。植え付け作業はもとより、植え付け後の管理にもご協力をいただいている委員の皆様、誠にありがとうございます。皆様の花を愛でる心がたくさんの花を咲かせたことと思っております。

以上、ご報告をもちまして開会のあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いいいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

この後の会議の進行につきましては、大仙市域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長に願いいいたします。

○会長

それでは会議を始めます。本日、伊藤明美委員、今野公行委員、齊藤由紀委員、鈴木幸寿委員、鈴木美保委員、傳野和樹委員より欠席の届けが出されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、10番佐々木徹委員と11番鈴木幸一委員に願いいいたします。

先程のあいさつで言い忘れましたが、前齊藤支所長が異動される際に、神岡地域協議会委員の名前でお花を贈っておりますのでご報告いたします。

それでは、はじめに地域枠予算活用事業についてであります。事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料No.1に基づき説明】

・市民協働型

ふれあいサロン祭り

事業の目的：各自治会単位のサロン参加者が一堂に会し交流することで、神岡地域のきずなを深める。

申請者：ふれあいサロン祭り実行委員会

事業費：245,000円

申請額：127,918円

・市民主導型

第13回全日本残月花火選手権大会

事業の目的：神岡地域の風習として古くからある残月花火を大会として復活させた全日本残月花火選手権を通して、地域文化の伝承を図り、観光発展の一助を担う。

申請者：一般社団法人 大曲青年会議所

事業費：900,000円

申請額：200,000円

・市民主導型

農村婦人部活動環境整備事業

事業の目的：劣化した施設の修繕を行うことで、消費と販売者双方の利用環境を向上し利用者の増加につなげる。

申請者：J A秋田おばこ神宮寺野菜直売所

事業費：270,370円

申請額：225,308円

○会長

ありがとうございました。それでは、資料No. 1の事業について協議いたします。

はじめに、「ふれあいサロン祭り実行委員会」による「ふれあいサロン祭り」についてですが、高橋しげ子委員より補足の説明はございますか。

○高橋しげ子委員

前回もお話ししましたが、平和中学校のインフルエンザの流行が予測されることから開催時期が早まっております。12月7日土曜日ですが、例年ですと神岡小学校の「和太鼓クラブ」も出演してもらっていましたが、クリスマスコンサートと重なってしましまして、代わりに老人クラブのダンスをお願いしました。それから地域芸能としまして「民謡唄っこ」の皆さんをお願いをしております。

○会長

ありがとうございます。それでは「ふれあいサロン祭り」についてご意見、ご質問等頂戴したいと思います。

市民協働型の交付割合は、満額ではないですね。

○事務局（地域活性化推進室）

事業費のうち、食糧費などを除いた補助対象経費全額が支給されます。

○会長

わかりました。他にありますか。

いずれ、継続事業ですので、特になければ、承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございました。続きまして大曲青年会議所による「第13回全日本残月花火選手権大会」について、ご意見を頂戴いたします。

○齊藤勲委員

事業費が900,000円で、予算書の中では補助金が220,000円になっていますが、申請額が200,000円というのはどのような理由ですか。

○支所長

補助金220,000円のうち、地域づくり事業補助金が200,000円、NPO法人大曲花火クラブの方から20,000円という内訳になっております。

○齊藤勲委員

わかりました。

○会長

他に何かございますか。

○会長

先程の説明で商品が神岡の特産品ということでしたが、大変よろしいことと感ずますが、予算書の雑費に入るようですが、これは対象経費でしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

対象経費ですね。

○会長

2、3年前に300,000円出したことがあります。当時の事を考えるといつも場所だけ貸すような感じでしたが、今回神岡の特産品を賞品として取り扱うという事になれば、当協議会として拠出する理由がしっかりしてくると思うので、満額出すというのは可能ですか。

○事務局（地域活性化推進室）

地域づくり事業補助金は、消費税を除いて6分の5です。

○会長

神岡の特産品を購入してもらうという事で、特産品の購入のためのお金をいくらかでも多く拠出したいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

○齊藤勲委員

賞品、景品となると、神岡地域の特産品だけでは賄えないと思いますので、補助金を使用する側としては使いにくくなるのではないかと。賞品、景品の中に神岡の特産品を

入れることは尊重して、200,000円の補助金の使い方は縛らずに対象経費であれば自由というか、それがいいのではと感じます。神岡の特産品を賞品にするという趣旨があれば、地域協議会としては補助金を出しても良いのではないかなと思います。

○佐々木徹委員

お願いするという形だといいかもかもしれませんが、縛りをつけると独占禁止法に抵触するのではないのでしょうか。

○会長

本来、地域枠予算というのは事業に対しての交付ですので、特化するというのは無理でしょうけれども、予算書を見ると200,000円を上回っていたというあたりから、そのくらいの金額を申請していただいてもという気持ちからでした。

○齊藤勲委員

気持ちはわかります。前回から補助金の金額を下げてきたのは、こちらで縛って下げさせたのではなくて、相手方で下げて申請をしたのですよね。

○事務局（地域活性化推進室）

そのとおりです。

○齊藤勲委員

であれば、それは素直に受けても良いのではないのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

今回の申請内容で、消費税を抜いて6分の5で計算してみると、300,000円くらいは出すことが可能かなと思われます。ですので、来年、青年会議所の方で神岡の特産品をたくさん使ってくれるということであれば、補助金の額についてはご相談が可能かなと思います。

○会長

こちらから、神岡の特産品を買っていただければ交付額を上乗せしますというお話はできないと思いますが、できれば特産品を賞品で買ってくださいというお話はできるのかなと。

○事務局（地域活性化推進室）

地域枠の目的を考えれば、そのお話をすることは可能かと思えます。

○会長

わかりました。今回は200,000円で申請が来ていますので、ほかにご意見がなければ承認を採りたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、大曲青年会議所による「第12回全日本残月花火選手権大会」について、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

続きまして、JA秋田おばこ神宮寺野菜直売所による「農村婦人部活動環境整備事業」についてご意見を頂戴いたします。はじめに、齊藤恵子委員から何か補足はありますか。

○齊藤恵子委員

前回も少しお話しましたが、冬囲いが古くなっており、外から見て営業しているかどうか分からないお客さんが多くみられましたので、今回、冬囲いの修繕をお願いしました。

○会長

佐々木委員から何かございますか。

○佐々木徹委員

私が伺ったのは、働く場所の確保ということで、通年営業できるようにドアなどを修理してほしいと依頼を受けたものです。

○会長

それではご意見、ご質問をお受けしたいと思います。よろしくお願いたします。こちらの直売所は、建物は市のもので経営がJAでしたでしょうか。

○齊藤恵子委員

全て農協です。

○会長

そうすれば、JAからはお金は出るものですか。今回は特に申請していないということでしょうか。

○齊藤恵子委員

そうですね、今までもしたことはないです。土地は借りていますが。

○会長

立ち上げには行政が入っていましたよね。

○齊藤恵子委員

ちがうと思います。農協さんの店舗の前でやっていたのが今の場所に移ったので。

○会長

直売所の立ち上げは行政が主体ではなかったですか。

○岩根農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

直売所はもともと農協の管轄でやっています。

○齊藤恵子委員

道の駅の方は、駐車場を使わせてもらう関係で第三セクターの方と色々ありますが、こちらは農協の方だと思います。

○農林建設課長

財産としては市の物は何もありませんので。ただ、長年やっている間に屋根が壊れたりして相談を受けて、お手伝いをしたというところはございます。今回は地域枠予算で対応していただけるということで、農政の方では支所の裁量で使える予算というのはないですし、6次産業化の補助事業でもこのような額は出ないので、大変ありがたいなと思っております。

○会長

ありがとうございます。ぜひJAの方にも声を掛けていただいて、より良いものにしていただければと思います。

ほかにご質問はございませんか。

なければ、JA秋田おばこ神宮寺野菜直売所の「農村婦人部活動環境整備事業」について、承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

ありがとうございました。

資料No. 1の市民協働・市民主導型事業の協議は以上といたします。

次に、次第の6. その他に入ります。事務局から何かございますか。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき「第2回ひとづくり・ものづくり応援事業審査会」について報告】

・ひとづくり応援事業

きょうわジビエブランド戦略事業

事業の目的：イノシシや日本シカ等が確実に増加することが予想される中で、捕獲した鳥獣の処理に苦慮していたことから、保健所等の許可を見据えた処理加工施設として整備し、解体処理及び処理肉の有効活用も含めた組織運営を検討し、農畜産物の被害の軽減や新ビジネスによる地域の活性化につなげたい。

申請者：きょうわジビエ研究会

事業費：474,529円

申請額：300,000円

○会長

ありがとうございます。委員の皆さんから何かございませんか。

ないようですので、本日の協議会は全て終了しました。以上をもちまして、会議を閉じさせていただきます。大変お疲れ様でした。

(9時10分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

齊 藤 恵 子

齊 藤 劦
